



広島城北高等学校サッカー部OB会
広島市東区戸坂城山町1-3 広島城北学園内 〒732-0015
電話 082-229-0111 FAX 082-220-2366



博多祇園山笠(OB会報)

19回生 吉川 英司

「博多祇園山笠・追い山」。この行事が終わればこの博多の街は本格的な夏の到来を迎える。私も、福岡赴任し、はや四年目を迎える。私合いの強い勧めもあり初めて、息子と一緒に見学に行った。午前三時五十分起床。準備しすぐこの「追い山」の出発元である「柳田神社」博多駅の近く」を目指し出発した。おりしも台風四号の通過したばかりで大雨と強風の中。そこでびつくり、この天候・早朝にもかかわらず駅前駐車場などは見学者と思われる車で溢れかえっていた。なんと：そして、場所を確保し男衆の神輿を待った。

しばらくすると「おいさー!!」「おいさー!!」と勇ましい掛け声が聞こえ始め、本年度の「一番山笠の土居流(ながれ)」の集団が飾り神輿をかつき気合もるとも走り去っていった。そのご次々と「いや〜〜〜迫力!!」。実は、この日わざわざ広島から、この原稿(OB会報)を毎年作ってくれている清川ファミリも連休を利用して来ていました。残念ながらあまりの人の多さより合流できませんでした。...



何よりも感じたことは、参加者の年齢層でした。老若男女・まだ一歳位と思われる赤ちゃんを担ぐお父さん。ほーっ。この年から参加し楽しさを自然と覚えそのまま成人する。その後、全国どこへ出たとしてもこの時期に必ず、「追い山」に参加するために帰ってくる。

る。そして、旧交を温める。そしてそこでふと思いました。これは、わが城北サッカー部の「最上段グラウンド」に「蹴り」の感じにしている。そして、われら、城北軍団はまだまだ伝統のある強豪校と言われる存在とはなっておりません。現在、毎年少しづつではあります結果を出すことにより相手校から対戦するのが嫌な存在へと変わってはいませんか。...

私自身もプレイヤーであった学生時代に対戦したこともある選手達が(例えばエスパルスの長谷川監督・カズの監督の高木監督等)Jリーグの監督を務めており、もう世の中の中心は我々の世代が動かしているという自覚を持つとともに、諸先輩の話は十分に伺い、「よりの心強いチーム」・「自分達(生徒達)で考え行動できるチーム」・「礼儀をわきまえる事のできるチーム」を目指し更なるレベルアップを図っていくよう宮本監督をはじめ黒瀬先生・大下先生・高山先生・岩井・猶崎・菊一スタッフの方々指導よろしく願います。この高校時代だけではなく将来的におおきく育つように指導してください。期待しています。...



いまを思い出す...仲間

39回生 橋本 周一

広島城北高校サッカー部39回生、橋本周一と申します。今年六月一日より教育実習生として再び母校におじゃまさせていただきますことになり、この機会にOB会報にその経験について寄稿したいかというお話を宮本先生からいただいたので、恐縮ながら引き受けてもらおうと思います。私は現在大阪の大学の4回生で、卒業もなんとか見えてきて、今度は社会に出ることへの不安を感じながら、人生で一番自由な時間を謳歌しています。

さて、今回いったいどんなことを書いたらいいのやろと、あれこれ悩んだのですが、やはりせっかく教育実習生という特別な立場から城北サッカー部を見ることが出来たのだから、そういった視点から見た現役生の活躍と、私なりの話ができたらと思います。



三週間の実習の中で、結局私は一度だけしか最上段グラウンドへ上がることはできなかったのですが、学校の校舎の中でならたくさん話をすることが出来ました。校舎の中の彼らは明るく元気で、日々を楽しそうに過ごす「高校生」の姿でした。久々にそんな若さのエネルギーを感じ、まるで自分も高校生の頃に戻ったかのようでした。ただその印象も、最上段グラウンドに上がればまた違ったものになりました。明るく元気で、楽しそうなのは変わりないのですが、それだけではなく、最上段の彼らの姿には、同じ目標を

目指す「サッカー選手」の姿がありました。教室での仲の良い友達同士の関係と、ただの仲良しではない、緊迫感、きびしさが、そこにはあるようでした。



その違いを見たとき、私は自分がまだ現役だった頃に宮本先生がよく言っておられた言葉を思い出しました。クラスの友達と、部活の仲間とは違う：いま客観的に見て、その意味がさらによくわかってきた気がします。

三年間という限られた期間の中で、違う性格の者同士が(サッカーが好きというところでは似ているけれど)、同じ目標に向かって努力する。もしかしたらたとえ同じクラスになっても話すことはなかったかもしれない奴だっている。そんな中で、馴れ合いとは違う自分の意見を言い合う。これはやはりただの友達とは違うものであり、城北サッカー部にはその舞台が用意されていたのだなと、いまさらになってかみ締めています。

教育実習も終わり、懐かしい城北の思い出に浸っている今、久しぶりに懐かしい仲間の顔を見てみたいなと思ひ、これまでなかなか自分で連絡を取らずにきた自分に恥ずかしさを感じています。現役の皆さんには、その特別な仲間たちとともに、協力しながらぶつかりながら、ひたすら目標に向かって走り続けてほしいです。きつと分かれるときが来ます。

なんだかえらそうなことを言ってしまうかもしれませんが、とにかく城北サッカー部のさらなる飛躍を心から願っています。これからも一ファンとして、陰ながら応援し続けたいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございます。

最上段で学んだこと

41回生 小林 未来

皆さんこんにちは。一年の浪人を経て今年の春、晴れて大学に入学しました。苦しい浪人時代、最上段で学んだことに改めて気付かされました。その中に『挫折の後の成功の喜び』があります。僕は中学時代野球部に所属しており、高校からキーパーとしてサッカーを始めました。

一年生の時、三年生の先輩が出場した選手権の二次リーグで僕は応援団長を任せられ声がかれるまで応援し、勝利に喜ぶ中で自分も二次リーグという大きな舞台でプレーしたいと胸を膨らましていました。それから練習を重ね試合に出場させてもらう機会が増えましたが現実には理想とはかけ離れていました。毎試合ミスをしてチームに迷惑をかけ、あまりのふがいなさに猶崎コーチが個別に指導にあたってくださるほどでした。『お前が上手くならないとチーム全体のレベルが上がらない』とも『チーム一のウイークポイント』とも言われましたが、腐らずに練習すればチームに迷惑をかけないプレイヤーになれると信じて努力し、だいぶ自信もついていきました。



しかし、その過信を打ち砕く出来事は第83回の選手権に起きました。その年は三人の先輩がサッカーを続けており、城北高校サッカー部は二次リーグまで駒をすすめていました。海田高

校に勝てばチーム目標のベスト8は目の前だったので。しかし、その試合で僕は相手の蹴ったイージーボールを取り損ねて一点を献上してしまい、試合も結局一点差で敗れてしまったのです。

チームの敗退、先輩の引退を決定づけてしまったショックからその後一週間、僕は家に帰って泣きじゃくっていました。泣いて泣いてさらに考えた上で僕が出した結論は『これ以上チームに迷惑をかけるくない』その一つでした。それから死に物狂いで練習にのぞみ、練習のない日はジムで筋トレをする毎日でした。一番心がけたのは自分の力を過信せず謙虚な気持ちをもつことでした。



そうやって練習を重ねていたある日、コーチと宮本先生から『お前が一番上手くなった』と言われ家で大泣きした事は今でも忘れません。その時、初めて認めてもらい、挫折の後の成功の喜び、その素晴らしさを知りました。そして今年浪人という挫折の後に大学合格という成功の喜びを味わうことができました。僕はサッカー部を引退してもなお、最上段に教わり、そして導いてもらっているのだと、そう実感しています。

近況報告

昨年、広島城北高校サッカー部は春の高校総体県大会出場、高校選手権大会二次リーグ進出をともに果たせず、「我慢」の一年を過ごしました。これまでである一定の成績は残してこれましたが、常に上位に進出していくには、まだまだ地力が足りていないことを痛感させられました。

今年大きなジャンプをするため、ぐっと深く沈み込んだ一年だったと前向きに考え、より一層の激しさでチームは戦っています。

～戦績～ ※ 各大会の詳細は、HPをご覧ください。

広島地区新人戦

昨年はグループ2位にとどまり、2位トーナメントでも敗れて県大会出場はならなかったが、今年は無失点で4連勝してグループ1位となり、広島県高等学校新人大会への出場権を得た。

広島県高等学校新人大会

初戦は昨年の選手権大会で敗れた神辺旭高校と対戦し、引き分け発進となった。しかしその後の2試合に勝利した結果、得失点差でグループ1位となり、春季県リーグ出場を果たすと同時に、高校総体の県大会出場が決定した。

中国高等学校サッカー選手権大会 広島県予選

新人大会の成績により、中国大会の県予選トーナメントに参加することとなった。初戦の高陽東高校には、苦戦したがなんとか勝ちを得ることができた。続く2回戦の広島県工に勝てば中国大会の出場権を獲得できるところであったが、善戦したものの後半力尽きて2失点し、初の中国大会出場はかなわなかった。

広島県高校総体 広島県予選(春季県リーグ)

強豪3校とどろぎを削るリーグ戦となった。瀬戸内、国泰寺とはスコアレスドロー、続く広高校にはなんとか勝利することができ、グループ2位という結果を得た。

広島県高等学校総合体育大会

初戦で五日市高校と対戦した。試合内容はほぼ互角であったが、球際の局面で少しずつ相手に上をいかれたのがダメージとして蓄積されたのか、後半コーナーキックから失点し、そのまま試合終了となった。

上記の戦績からもおわかりいただけると思いますが、今年は大変過密なスケジュールで過ごしています。連戦をこなしていくことで、選手は少しずつタフな心と身体を作りつつあります。しかしそれは他の学校とて同じことです。ここから「上」を目指すには何が足りないのか、選手一人一人が考え、強い気持ちで実践して欲しいと思います。

また、7月15日からは、前期あすなろリーグもスタートします。先日リーグに出場するライノス101のメンバーが発表され、選手達は非常に気合の入った顔をしていました。トップチームに勝るとも劣らない、熱いハートをもって「最上段魂」を体現する彼らのプレーにも期待してください。

今年も暑い夏になりそうです。チームを支え、応援してくださるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、選手達は勉強、サッカーに一生懸命取り組んでいってくれると思います。広島城北高校サッカー部を、これからもよろしくお願いします。

広島城北高校サッカー部 コーチ 岩井 竜彦(24回生)

QPONのひとり言

～浅海友峰君の活躍～

慶應義塾大学三年の浅海友峰君が、春の関東大学リーグ戦にフルタイム出場しました。彼の活躍もあり、慶應義塾大学は、関東リーグ2部を一位で前期の日程を終了しています。その活躍が評価され関東選抜候補に選ばれたそうです。

県総体

残念ながら、一回戦敗退に終わってしまいましたが、11人の三年生がたくさんの財産を残してくれました。それは、広島城北らしい“チームの和”

新チームも3年生に負けない“思いやりのあるチーム”を目指して頑張りたいと思います。

選手権

昨年とは違い三年生の残った選手権に向けて、暑い！そして熱い夏を過ごしたいと思います。どこよりも熱く!!!

RHINOS 101

セカンドチームが、あすなろリーグに参加して三年目になります。今年も我々がRHINOS 101が、あすなろリーグに参戦します。こちらもお楽しみに!

結構強いよ。間違えなく〇正キャプテンのチームよりは…(笑)

部員 138人

中1から高3までのサッカー部員は、138人です。(全校生徒1481人 もうちょっとで一割) 大所帯になっております。

夏休み

長期天気予報では、今年の夏も暑くなるようです。海もキャンプもいいですが、最上段が、かわいい後輩たちが、みなさんを待っています!

ぜひ最上段で暑い暑い!どこよりも熱い夏を!

広島城北高校サッカー部監督 宮本 誠(19回生)